



首都圏
自然歩道

関東ふれあいの道

栃木県

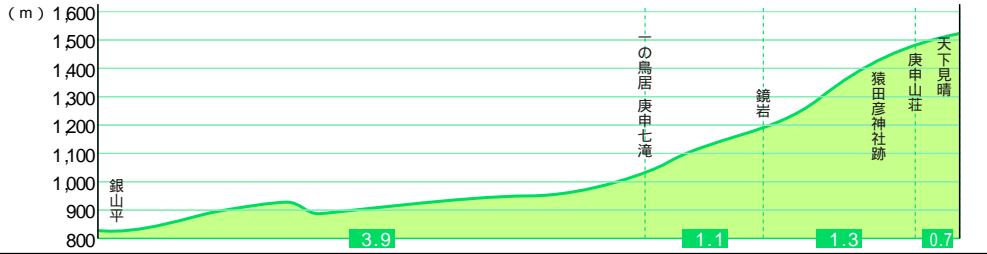
23

ヤシオ咲く庚申のみち

7.0km

銀山平から庚申溪谷に沿って林道を進むと、天狗の投石と呼ばれる不思議な光景に目を奪われるでしょう。そして、次に現れる一の鳥居は、江戸時代から明治にかけて盛んに行われた信仰登山の歴史を感じさせる佇まい。いよいよ参道（登山道）を登り始めます。途中、鏡岩や夫婦蛙岩があり、庚申講の石碑の並びみちを進むと猿田彦神社の跡地に出ます。かつては庚申講の総本山として全国に信者が多く、荘大な伽藍（がらん）があったところです。まもなく庚申山荘に到着し、ヤシオツツジの群生地をぬけて行けば、最後に天下の見晴から鋸山、袈裟丸（けさまる）山、皇海（すかい）山の展望を目にすることができます。

ルート標高



踏破認定撮影ポイント



庚申山(庚申山荘)

庚申山の犬岩壁をバックに建つ丸太づくり 2階建ての無人の山小屋です。庚申山や皇海山登山のベースキャンプとなっています。テーブルのある食堂兼談話室や寝室があり、布団が備えられています。

問い合わせ先：日光市観光部 観光交流課
TEL 0288-21-5196

問い合わせ

栃木県環境森林部自然環境課 自然公園担当
栃木県県西環境森林事務所 環境企画課
日光市役所足尾総合支所 観光課
日光市観光部 観光交流課
国民宿舎「かじか荘」

〒320-8501 宇都宮市壺田 1-1-20 TEL.028-623-3206
〒321-1263 日光市瀬川 51-9 TEL.0288-21-1180
〒321-1523 日光市足尾町松原 1-19 TEL.0288-93-3116
〒321-1292 日光市今市本町 1 TEL.0288-21-5196
〒321-1500 日光市足尾町銀山平 5488 TEL.0288-93-3420

コース周辺の見所



天狗の投石

斜面に沿って、同じような大きさの岩が一面に転がっている不思議な地形が現れます。岩は人の力ではとても持ち上げることができず、天狗が山の上まで積み上げたように、または投げ捨てたように見えることからその名が付けられました。足尾七不思議の1つとされています。



一の鳥居

赤い大きな鳥居です。「ヤシオ咲く庚申のみち」はここからが沢沿いの林道歩き、ここからは登山道になります。江戸時代から明治にかけて盛んに行われた信仰登山の歴史を感じさせる佇まいです。



鏡岩

昔、庚申山に行った猟師が吹雪で谷底に落ちてしまいましたが、自分の娘を嫁がせることを条件に、凍死寸前に現れた大ザルに助けられました。その後、大ザルのもんに嫁いだ娘に会うために猟師は何度も山へ登りましたが、ある日この岩の前で娘に会ったところ、娘はもう人間の姿をしておらず、父娘は涙で別れたといわれています。



ニホンザル

庚申山周辺には、その名のとおりニホンザルが多く、注意して歩けばその姿を見ることができます。体長は50～60cm 体重は10～15kg 雌より雄の方がやや大きく、同じ仲間比べて尾が短い日本列島の固有種です。また、日本ではザルの顔や尻が赤いのは一般的だと思われていますが、これはニホンザルの特徴です。昼行性で、巣は作らず、泊まり場は毎日変わります。



ヤシオツツジ

アカヤシオ、シロヤシオ、ムラサキヤシオというツツジの総称で、栃木県の県花に指定されています。庚申山周辺ではピンクの可憐な花をつけるアカヤシオが多く見られます。アカヤシオは福島県から兵庫県まで分布し、岩の多い斜面や尾根筋などに生える高さ2～6mになる落葉低木です。4～5月、芽吹き前の早春の山々に先陣を切って鮮やかな花を咲かせ、春の華やぎを見せてくれます。